

農山漁村を豊かにする

再生可能エネルギー

シンポジウム in 仙台



農山漁村に豊富に存在している自然の恵みを最大限活用し、再生可能エネルギーの導入を図ることで、農林漁業の発展、活性化を目指します。

本シンポジウムでは、農林漁業者（団体）が中心となって取り組む再生可能エネルギー発電事業について、有識者にその意義をご講演いただくとともに、実際に地域で取組を進めている団体からの報告やパネルディスカッションをおして、農山漁村の活性化につながる再生可能エネルギー事業のあり方について考えます。多くの方々の参加をお待ちしております。

日時

2015年

10月14日(水)
14:00-18:00
(開場 13:30)

会場

トラストシティ
カンファレンス
・仙台

◆定員 100名

◆参加無料 申し込みは裏面をご覧ください。

プログラム

基調講演 1

「農山漁村に資する再生可能エネルギー事業について」
～再生可能エネルギーの「一次化」とは～

丸山 康司氏
(名古屋大学大学院環境学研究科準教授)

基調講演 2

「農山漁村で地域貢献型再エネ事業を実現するために」

水上 貴央氏
(弁護士・NPO法人再エネ事業を支援する
法律実務の会理事長)

農山村地域の再生可能エネルギー 事例紹介

「秋田県大潟村における再生可能エネルギー推進の取組」

※この他、1～2事例の紹介を予定しています。

角田 伸一氏
(株式会社大潟共生自然エネルギー)

パネルディスカッション

「農山漁村を豊かにする再生可能エネルギー事業とは」

※講演・事例紹介のタイトルは、当日変更になることがあります。

お問い合わせ

一般社団法人 日本再生可能エネルギー協会
TEL:070-6572-2868 FAX:03-5942-8938

※ 本シンポジウムは、農林水産省の補助事業として実施しています。

【基調講演・講演者プロフィール】



丸山 康司 氏

(名古屋大学大学院環境学研究科準教授)

名古屋大学大学院環境学研究科(社会環境学専攻)准教授。専門は環境社会学、環境倫理。再生可能エネルギーの導入に伴う社会的影響についての研究に従事し、自然保護と両立させる方法、合意形成の手法、地域社会に資する事業のあり方などの課題に取り組んでいる。実践的な研究成果を志向し、地方自治体における政策形成や再生エネルギー条例の策定にもかかわっているほか、NPO法人グリーンエネルギー青森理事長として、地域密着型の風力発電事業を展開している。



水上 貴央 氏

(弁護士・NPO法人再生エネルギーを支援する法律実務の会理事長)

一橋大学商学部経営学科卒業後、銀行系シンクタンク勤務後、早稲田大学法務研究科法務博士(現在、同研究科アカデミックアドバイザー兼アカデミックコーディネーター)。国の事業仕分け第1弾後半より直近第3弾まで民間評価者(仕分け人)を務める。2010年より地方自治体事業仕分けの仕分け人も務めている。「NPO法人再生エネルギーを支援する法律実務の会」の理事長として、再生可能エネルギーに関心のある市民、地方自治体、地域コミュニティその他の団体に対して、再生可能エネルギー事業の推進に関する総合的な支援事業(情報提供、セミナー開催、法的アドバイスなど)を行っている。

【会 場】

トラストシティ カンファレンス・仙台

(宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1
仙台トラストタワー5階)

- ◆JR仙台駅 西口より徒歩9分
- ◆JR仙石線 あおば通駅 2番出口より徒歩8分
- ◆地下鉄南北線 仙台駅 南2番出口より徒歩6分



【申し込み方法】

本申込書を以下にFAXいただくか、HPの申込フォームからお申し込みください。

FAX番号: **03 - 5942 - 8938**

HP: <http://www.jrep.or.jp/265>

【シンポジウム】農山漁村を豊かにする再生可能エネルギーin仙台 参加申込書

フリガナ					
お名前					
ご所属					
TEL		FAX		e-mail	
関心のある再生可能エネルギーはありますか。 ☐ 太陽光 ☐ 小水力 ☐ 風力 ☐ バイオマス					